



2025年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日

上場会社名 株式会社フルヤ金属 上場取引所 東
コード番号 7826 URL <https://www.furuyametals.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 堯民
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務・経理部長 (氏名) 尾高 尚徳 TEL 03-5977-3377
半期報告書提出予定日 2025年2月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年7月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	26,822	27.0	5,866	28.8	5,642	31.0	3,894	30.4
2024年6月期中間期	21,124	△13.0	4,553	△39.4	4,305	△42.2	2,985	△40.3

(注) 包括利益 2025年6月期中間期 3,872百万円 (29.6%) 2024年6月期中間期 2,987百万円 (△40.2%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期中間期	158.57	158.05
2024年6月期中間期	139.36	138.80

(注) 当社は、2024年7月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり中間純利益及び潜在株式調整後1株当たり中間純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期中間期	128,523	62,109	48.2
2024年6月期	112,721	60,512	53.5

(参考) 自己資本 2025年6月期中間期 61,895百万円 2024年6月期 60,287百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	286.00	286.00
2025年6月期	—	0.00	—	—	—
2025年6月期（予想）	—	—	—	96.00	96.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2024年7月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。2024年6月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2025年6月期(予想)については、当該株式分割後の数値を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2025年6月期(予想)の年間配当金は、288円となります。

3. 2024年6月期の期末配当金286円には、東証プライム市場上場記念配当30円を含んでおります。

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	17.8	12,000	22.3	12,000	12.3	8,400	13.4	342.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- （1）当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー
- （2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期中間期	25,389,636株	2024年6月期	25,389,636株
② 期末自己株式数	2025年6月期中間期	813,547株	2024年6月期	836,247株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年6月期中間期	24,560,612株	2024年6月期中間期	21,425,196株

（注）当社は、2024年7月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社を取り巻く経営環境につきましては、国内経済は、物価高の影響から個人消費が弱含むも企業の設備投資は底堅く推移し、緩やかに回復している状況にあります。海外経済は、旺盛な設備投資や個人消費の伸びを背景とした米国経済の底堅さや、経済政策効果を背景とした中国経済の復調がみられる一方で、ドイツを中心とした欧州の景気低迷ならびに地政学的リスク及び主要国の経済政策により、需給バランスに対する不確実性が継続している状況にあります。回復基調が継続していた情報通信市場、半導体市場、エレクトロニクス市場につきましては、業種に需要の一巡や在庫調整を背景に一部に投資抑制の動きがみられるようになりました。なお、当社が取り扱う主要貴金属価格の需給を背景とした変動や、各国中央銀行の金融政策を背景とした為替変動が複合的に作用し、当社の売上、利益に影響しております。

このような状況のもと、当中間連結会計期間において、売上高26,822百万円（前年同期比27.0%増）、売上総利益7,872百万円（前年同期比19.0%増）、営業利益5,866百万円（前年同期比28.8%増）、経常利益5,642百万円（前年同期比31.0%増）、親会社株主に帰属する中間純利益3,894百万円（前年同期比30.4%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

なお、セグメントにつきましては前第3四半期連結会計期間より、事業内容をより適正に表示するために、報告セグメントの名称を「ケミカル」から「ファインケミカル・リサイクル」に変更しております。また、量的重要性の観点から、当社製品の受注に関係しない主要な貴金属原材料の販売につきましては、「サプライチェーン支援」として報告セグメントに記載する方法に変更しております。

①セグメント別の業績

[電子]

海外の医療用シンチレーター（放射線に当たると、蛍光を発生する物質）の単結晶育成装置向けイリジウムルツボ受注は堅調に推移いたしました。データセンター間の光通信用アイソレーター（順方向に進む光のみ透過し、逆方向の光を遮断する部品）の光学結晶育成装置向けイリジウムルツボの需要が高まる一方で、スマートフォン用SAWデバイスのリチウムタンタレート単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注回復の足取り重く、売上高3,380百万円（前年同期比10.6%増）、売上総利益1,251百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

[薄膜]

データセンターの記憶媒体として使用されるHD（ハードディスク）向けスパッタリングターゲットの受注は、前連結会計年度の第4四半期より回復基調が継続しており、売上高5,339百万円（前年同期比31.3%増）、売上総利益2,055百万円（前年同期比15.7%増）となりました。

[サーマル]

半導体製造向けの底堅い交換需要があるものの、半導体製造装置メーカーや海外半導体メーカーにおいて投資抑制や在庫調整の動きがみられ、売上高2,321百万円（前年同期比25.3%減）、売上総利益765百万円（前年同期比41.1%減）となりました。

[ファインケミカル・リサイクル]

顧客の在庫調整を背景に有機EL向け化合物や化学プラント向け化合物の受注回復の足取りは重かったものの、苛性ソーダ製造等に使用される電極向け貴金属化合物の受注が大きく改善し、売上高13,589百万円（前年同期比100.9%増）、売上総利益3,764百万円（前年同期比89.5%増）となりました。

[サプライチェーン支援]

当社製品の受注に関係しない貴金属原材料の需要にも一服感がみられ、売上高1,549百万円（前年同期比61.5%減）、売上総利益は前年同四半期比275百万円減少し、1百万円の損失となりました。

②海外売上

当中間連結会計期間における海外売上高は16,840百万円（総売上高に占める割合は62.8%）となりました。地域別には、アジア向け売上高5,232百万円（海外売上高に占める割合は31.1%）、北米向け売上高4,178百万円（海外売上高に占める割合24.8%）、欧州向け売上高7,429百万円（海外売上高に占める割合は44.1%）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は128,523百万円（前連結会計年度末比15,801百万円の増加）、総負債は66,414百万円（前連結会計年度末比14,204百万円の増加）、純資産は62,109百万円（前連結会計年度末比1,596百万円の増加）となりました。

①流動資産

当中間連結会計期間末における流動資産残高は104,761百万円となり、前連結会計年度末比13,333百万円増加しました。これは原材料及び貯蔵品が13,885百万円増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当中間連結会計期間末における固定資産残高は23,761百万円となり、前連結会計年度末比2,468百万円増加しました。これは土地が1,048百万円、建設仮勘定が794百万円増加したことが主な要因であります。

③流動負債

当中間連結会計期間末における流動負債残高は51,516百万円となり、前連結会計年度末比6,567百万円増加しました。これは支払手形及び買掛金が4,384百万円増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当中間連結会計期間末における固定負債残高は14,898百万円となり、前連結会計年度末比7,637百万円増加しました。これは長期借入金が7,655百万円増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当中間連結会計期間末における純資産残高は62,109百万円となり、前連結会計年度末比1,596百万円増加しました。これは利益剰余金が1,553百万円増加したことが主な要因であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年8月7日付「2024年6月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で発表しております計画から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,300	10,057
売掛金	6,074	6,455
受取手形	178	157
商品及び製品	3,898	5,370
仕掛品	5,015	4,867
原材料及び貯蔵品	61,301	75,187
未収消費税等	540	886
デリバティブ債権	1,594	1,534
その他	523	244
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	91,428	104,761
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	4,218	4,466
機械装置及び運搬具 (純額)	9,525	10,004
土地	1,960	3,008
リース資産 (純額)	838	666
建設仮勘定	478	1,273
その他 (純額)	192	187
有形固定資産合計	17,213	19,606
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	1,956	2,447
その他	58	57
無形固定資産合計	2,014	2,504
投資その他の資産		
投資有価証券	44	51
繰延税金資産	1,728	1,335
その他	293	264
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,064	1,650
固定資産合計	21,293	23,761
資産合計	112,721	128,523

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,792	26,177
未払金	3,527	3,880
短期借入金	12,700	13,700
1年内返済予定の長期借入金	3,291	4,801
未払法人税等	1,990	1,496
賞与引当金	461	434
役員賞与引当金	121	—
設備関係未払金	378	223
リース債務	168	141
その他	517	659
流動負債合計	44,948	51,516
固定負債		
長期借入金	5,300	12,956
退職給付に係る負債	901	950
資産除去債務	43	43
長期未払金	401	401
リース債務	594	530
その他	19	16
固定負債合計	7,260	14,898
負債合計	52,209	66,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,662	10,662
資本剰余金	12,313	12,348
利益剰余金	38,526	40,080
自己株式	△1,323	△1,287
株主資本合計	60,178	61,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	1
為替換算調整勘定	119	107
退職給付に係る調整累計額	△13	△17
その他の包括利益累計額合計	108	91
新株予約権	83	77
非支配株主持分	141	136
純資産合計	60,512	62,109
負債純資産合計	112,721	128,523

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	21,124	26,822
売上原価	14,509	18,950
売上総利益	6,615	7,872
販売費及び一般管理費	2,061	2,005
営業利益	4,553	5,866
営業外収益		
受取家賃	7	11
為替差益	960	479
その他	4	6
営業外収益合計	972	497
営業外費用		
支払利息	414	627
デリバティブ評価損	759	60
その他	46	33
営業外費用合計	1,220	721
経常利益	4,305	5,642
税金等調整前中間純利益	4,305	5,642
法人税、住民税及び事業税	1,312	1,357
法人税等調整額	13	394
法人税等合計	1,325	1,752
中間純利益	2,980	3,889
非支配株主に帰属する中間純損失 (△)	△5	△4
親会社株主に帰属する中間純利益	2,985	3,894

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
中間純利益	2,980	3,889
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△0
為替換算調整勘定	△4	△12
退職給付に係る調整額	13	△3
その他の包括利益合計	7	△17
中間包括利益	2,987	3,872
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,993	3,877
非支配株主に係る中間包括利益	△5	△4

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	4,305	5,642
減価償却費	574	625
支払利息	414	627
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
為替差損益(△は益)	△9	△0
デリバティブ評価損益(△は益)	759	60
売上債権の増減額(△は増加)	481	△362
棚卸資産の増減額(△は増加)	△6,294	△15,210
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,296	4,384
未収消費税等の増減額(△は増加)	9	△345
未払金の増減額(△は減少)	1,178	429
棚卸資産から固定資産への振替	△1,325	△1,358
固定資産から棚卸資産への振替	1,443	108
その他	△60	△47
小計	181	△5,445
利息及び配当金の受取額	0	2
利息の支払額	△415	△592
助成金の受取額	—	370
法人税等の支払額	△1,234	△1,838
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,468	△7,504
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△421	△497
有形固定資産の取得による支出	△484	△1,940
その他	△2	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△908	△2,455
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,000	1,000
長期借入れによる収入	3,300	11,000
長期借入金の返済による支出	△1,607	△1,834
株式の発行による収入	10,396	—
配当金の支払額	△1,773	△2,351
リース債務の返済による支出	△66	△94
その他	△0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,249	7,719
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	△10
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,876	△2,250
現金及び現金同等物の期首残高	3,114	12,298
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	7
現金及び現金同等物の中間期末残高	13,990	10,055

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(棚卸資産と固定資産間の振替)

当社グループは、保有する貴金属資産の利用実態を見直しし、保有目的の変更により、棚卸資産と有形固定資産の間で振替えを実施しております。

当中間連結会計期間において、保有目的の変更により、有形固定資産の一部を棚卸資産に、また棚卸資産の一部を有形固定資産に振替えております。これにより「原材料及び貯蔵品」が552百万円減少し、「機械装置及び運搬具」が521百万円増加し、「商品及び製品」が43百万円減少しております。また、「仕掛品」が653百万円減少し、「建設仮勘定」が728百万円増加しております。

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
	増減額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減額 (百万円)
商品及び製品	△184	△234	△43
原材料及び貯蔵品	59	249	△552
仕掛品	243	257	△653
機械装置及び運搬具	99	28	521
建設仮勘定	△218	△300	728

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2023年7月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	サーマル	ファインケ ミカル・リ サイクル	サプライチ ェーン支援	計		
売上高								
日本	972	1,001	2,254	4,650	1,987	10,866	24	10,890
アジア（日本以外）	44	2,245	764	35	2,041	5,131	73	5,205
欧州	7	167	26	1,592	—	1,794	—	1,794
北米	2,031	653	63	485	—	3,234	—	3,234
顧客との契約から生じ る収益	3,055	4,068	3,109	6,764	4,029	21,026	98	21,124
外部顧客への売上高	3,055	4,068	3,109	6,764	4,029	21,026	98	21,124
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,055	4,068	3,109	6,764	4,029	21,026	98	21,124
セグメント利益	1,273	1,775	1,299	1,986	273	6,609	5	6,615

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品や当社製品の受注に関係しない貴金属原材料の販売等であります。

2. セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当中間連結会計期間（自 2024年7月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	サーマル	ファインケ ミカル・リ サイクル	サプライチ ェーン支援	計		
売上高								
日本	1,942	1,150	1,226	5,363	74	9,756	225	9,982
アジア（日本以外）	24	2,962	1,009	88	732	4,817	415	5,232
欧州	5	299	15	6,366	742	7,429	—	7,429
北米	1,407	927	70	1,771	—	4,178	—	4,178
顧客との契約から生じ る収益	3,380	5,339	2,321	13,589	1,549	26,181	640	26,822
外部顧客への売上高	3,380	5,339	2,321	13,589	1,549	26,181	640	26,822
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,380	5,339	2,321	13,589	1,549	26,181	640	26,822
セグメント利益又は損失 (△)	1,251	2,055	765	3,764	△1	7,836	36	7,872

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品や当社製品の受注に関係しない貴金属原材料の販売等であります。

2. セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

- (1) 前第3四半期連結会計期間より、事業内容をより適正に表示するため、報告セグメントの名称を「ケミカル」から「ファインケミカル・リサイクル」に変更しております。当該変更は、セグメント名称のみの変更であるため、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

- (2) 前第3四半期連結会計期間より「その他」に含まれていた「サプライチェーン支援」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載しており、前年同期の数値は変更後のセグメント区分に組替えた数値となっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。